



Since 1997

The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 15 | Issue 3 | March 2012

In this issue...

- ▶ ISA Results...p. 2
- ▶ Elementary School News...p. 3
- ▶ English Intensive Class...p. 7
- ▶ Library News...p. 8
- ▶ Comets Basketball...p. 10
- ▶ The Water Project...p. 10
- ▶ Middle School Spelling Bee...p. 11
- ▶ Brain Bowl...p. 11
- ▶ Nurse's Notes...p. 13
- ▶ KIST Goes Knitting Crazy...p. 14
- ▶ College Guidance News...p. 15
- ▶ Alumnus Report...p. 17

"The beautiful thing about learning is nobody can take it away from you."

—B.B. King

From the School Director

皆様今日は！

私とミセス小牧は12日から3日間シンガポールで行われた総校長向けMYPの研修会を終え、帰りの飛行機でこの原稿を書いています。いつも投稿が遅れ、関係者にご迷惑を掛けてしまうこと、この紙面を借りてお詫びします。ごめんなさい。

また、ミセス小牧は、先週5日から3日間、文科省の国立教育政策研究所の「未来の学校づくり」の委員会メンバーとして、韓国の国立教育研究所、ソウル大学、高麗大学などを訪問し、お話を伺って参りました。当校がIBスクールとしてより発展するよう、これらの研修会や視察で得た知識や経験をスタッフとシェアし、十分生かして行きたいと思えます。

さて、皆様にはすでにご案内のとおり、4月2日からイングリッシュインテンシブクラス(EIC)がスタートします。このクラスはGrade 6からGrade 9の生徒を対象に以下の目的で提供されます。

- 英語が指導言語である学校で学ぶことを希望する生徒たちが、授業を受けるために必要な英語力と数学力を短期間で取得させること
- 難関と言われるDPIに進む生徒が、ディプロマ取得に成功するように準備をすること

通常、MYPのクラスでは英語と数学は週3ブロックずつで年間約150時間ですが、EICでは英語と数学を週5ブロックずつ年間約250時間学びます。また、英語の時間とは別にスピーキングやリーディングの時間も1ブロック設けています。すなわち、英語の勉強を1年間でMYPクラスの2年間分の時間を割くこととなります。また、ヒューマニティーとサイエンスがMYPクラスと同じ週3ブロックずつ、日本語とITとPEが週1回ずつとなります。

英語はMYPコーディネーターの経験がある教員が受け持ち、自らがIBDPの卒業生である、KISTのティーチャーアシスタントと共に十分なサポート体系を取ります。また、数学など他の教科の先生のうち、1名は自らがMYPを卒業生した経験を持つ教員、その他は現在KISTで授業を受け持っている教員がEICのクラスを受け持ちます。

EICの提供がKISTの学習環境のさらなる向上につながることで、学校全体のメリットとなり、「様々な背景を持ったやる気に満ちた生徒が、質の高い国際教育を受け、卒業後有益で有能な見識を持った国際社会の一員となるよう育成する(ビジョンより一部抜粋)」という当校のビジョンの実現に貢献することを期待しています。

最後になりますが、KISTでは3月12日月曜日に東日本大震災の犠牲者に対し全校で黙とうをささげました。多くの犠牲者を出した東日本大震災から早いもので1年が過ぎました。KISTコミュニティでは、震災2週間後の3月25日を第一回として、5回の被災地支援を行って参りましたが、破壊し尽された町、押し流された車、散乱する昨日までの営みを物語る品々、冷たいおにぎり1個で1日を過ごす着の身着のままの避難所の人々、等々、普通に生活していた人たちが、一瞬にして全てを失った現実を目の当たりにした時のショックを、一生忘れることがないでしょう。私たちは自分たちが普通と感じていることが、決して普通ではないことを深く胸に留め、自分に与えられた使命を果たすために責務を全うしなくてはならないと思えます。キスティバルでの募金活動をはじめ、被災地に編み物を送るなどスクールコミュニティの支援活動は続いています。今後も引き続き皆さんと共に支援を行いたいと思えますのでご協力お願い致します。

Yoshishige Komaki
School Director/Head of School

DATES TO REMEMBER



March

24-Apr 1 Spring break

April

- 2 School resumes
- 9 Clubs program resumes
- 13 Last day of quarter 3
- 16 School photographs (New and absent students)
- 18 (G6-G10) Math field day (Hosted @ Yokota High School)
- 20 Quarter 3 progress reports issued
- 20 (G12) Semester 2 reports issued
- 30 School day

May

- 2-22 (G12) DP examinations
- 3-6 Golden Week vacation
- 18 (G5) PYP exhibition
- 19 Family Day
- 21 School holiday
- 24 (W) Free dress day
- 30 PTA Annual general meeting
- 31 (E) Athletics carnival
- 31-Jun1 Concert rehearsals

June

- 2 School concerts
- 4 School holiday
- 7 (G12) Graduation rehearsal
- 8 (G12) Graduation ceremony
- 8 (W) Clubs program ends
- 13-15 (G9-G11) Semester 2 exams
- 14 (G12) Graduation dinner**

**Date changed from June 8 due to availability of venue.

ISA (International Schools' Assessment)テスト報告

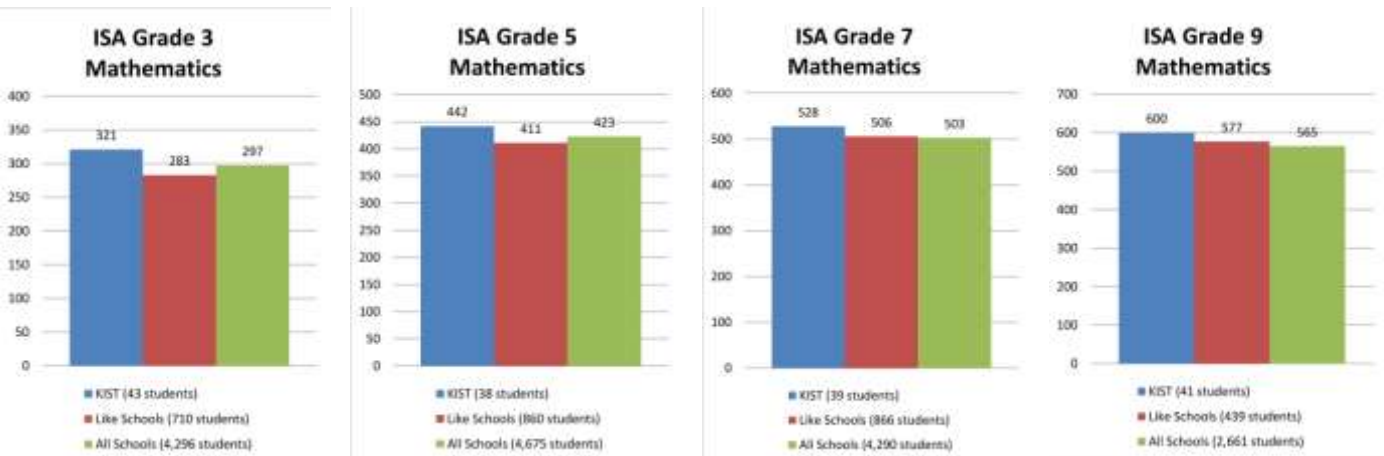
2011年10月、Grade 3、5、7、9の生徒を対象に ISA テストを実施しました。個別の結果はすでにお知らせしておりますが、学年としての結果や全体的な国際比較など気にされている方も多くいらっしゃると思います。今回のテストは当校と同じ時期、2011年10月に46カ国、118校にて27,000名の生徒が参加して行われました。平均など全体のデータはこちらをもととしています。当校では、クラスごと、またそれぞれの生徒について教員が結果を分析し、今後の指導、学習の参考とさせていただきます。当校の学年ごとの平均と全体との比較はまとめてグラフにてご確認くださいませ。すべてをここでご紹介することはできませんが、添付資料として送付させていただきますのでそちらをごらんください。

グラフには当校の結果（青色）のほか、英語を母国語とせず、学んでいる生徒の割合が当校と似たような環境にある学校（赤）、全参加校（緑）の平均が示されています。いくつかの点にお気づきになることと思いますが、当校の生徒の数学の平均はGrade 3、5、7、9すべての学年において、国際的な平均を上回っています（下記のグラフをご参照ください）。またライティングにつきましても、多少の変動はありますが、全

の学年においてほぼ平均レベルとなっています。

このようなテストを導入しております理由としましては、教育、指導の向上がひとつとしてあげられます。G3、G5の結果は、今後のリーディング学習の強化の必要性を示しています。今年度の準備の段階から、教員へのフォニックス教材の充実、エレメンタリー図書室の蔵書の拡大、各クラス向け図書の購入、K3-G5の生徒を対象とした年3回のリーディング考査の導入などを行ってまいりました。また、今年度は、設備、教材の充実のみならず、PYPコーディネーターMs Heardが教員のリテラシー指導を支援する様々な取り組みを図っています。バランスのとれたリテラシープログラムのあり方、カリキュラムのつながり、一貫したリテラシー指導などといった内容について、継続したサポートを行っています。これらの取り組みが今後の学習、そして来年度へと結びついていくことが期待されます。

Greg Brunton
Elementary School Principal



スクールコンサート



今年度のスクールコンサート“KIST on Stage”が6月2日（土）、タワーホール船堀にて行われます。全校参加となり、昨年同様3部に編成されての開催となります。予定は次の通りです。

Lower School Concert: For K1 to G1（午前中）

Elementary Concert: For G2 to G5（午後）

Secondary Concert: For G6 to G12（夕方）

SecondaryコンサートおよびElementaryコンサートにおける特別パフォーマンスにつきましては、春休みが明けにオーディションを予定しています。詳細はすでに送付させていただいておりますのでそちらをご確認いただき、何かございましたら音楽担当教員までお問い合わせください。



エレメンタリースクールニュース

ECE playground改修計画

ECE playground につきましては、引き続き、改修計画が進められ、専門業者と計画の内容や新たに予算、財源の見直しなどを行っています。Secondary Schoolデザインクラスとの連携につきましてご紹介します。

Mr Dennis, Mr Duxbury によるGrade 9デザインテクノロジーのクラスでは、それぞれがplaygroundの改修案をまとめています。Playgroundの現状やこちらの要望を確認し、保護者や生徒、教員のアイデアや意見をふまえ、実際の園庭や遊具の調査を行うなど様々な角度から課題に取り組んできました。最終案は、視覚的にわかりやすいよう、3Dイメージとしてまとめられています。

最終的な計画案なども含めまして、近日中にお知らせできることを願っています。



G9AのTomomiの計画案

ECE playgroundは自然に囲まれた環境にあり、雨天時に土が流れてしまった前後などは表面に石がでてきてしまうことがあります。そのため、教員、スタッフとともに、K1-



K3クラスの子ども達にも呼びかけ、石を拾ったりと安全への配慮を行っています。先日もたくさんのK3B、K1クラスのお子さんや保護者の方にもご協力いただきました。ありがとうございました。

エレメンタリー ランゲージクラブ紹介

様々な分野で展開されているElementary Schoolのクラブ活動ですが、今年度はじめてスペイン語、フランス語のクラブが行われています。スペイン語はMrs Theilen、フランス語はMs Parkinsonが担当しています。

スペイン語のクラブでは、様々なゲームや簡単な劇から単語、フレーズ、そして音楽を通して新たなコンセプトを学んだりしています。Grade 4、5の生徒がGrade 2、3の生徒とペアとなり“amiguito”(小さな仲間)として学習しています。

フランス語のクラブでは、単語ゲームを通してあいさつや色、体の部分を学んだり、それぞれの役割になって「どうしたの?」といった受け答えをしたり、好みを伝え合ったりする練習をしています。フランス語の名前をつけてのプロフィール作りなども行っています。



フランス語クラブの生徒それぞれのプロフィール

Grade 5 日産車体工場見学

Grade 5クラスは、1949年に操業開始した日産車体湘南工場を訪問しました。東京ドーム7個分の敷地に6,000名を越える従業員をかかえる工場を見学しました。従業員の方々、そしてロボットに支えられ、昼夜を問わず24時間体制で稼働している工場では、1日650台もの車が生産されているとのことでした。子ども達は、いただいた車体や工場を紹介する冊子を片手に、工場の組織や、車が生産されるまでの過程、また車の安全性を確保するための試験などについて学びました。写真撮影をすることはできませんでしたが、子ども達にとって忘れられない経験となりました。



Greg Brunton

Elementary School Principal



Mr BruntonとG9AのJamieがECE playground改修案について

PYPニュース

IB learner profile(求められる学習者像)

考える人、コミュニケーションできる人、探求する人、挑戦する人、深く考え反省できる人、心をひらく人、バランスのとれた人、正義感のある人、思いやりのある人、知識のある人を育むことを目的として示されるlearner profile(求められる学習者像)はPYP、MYP、DPプログラムを総括するIBカリキュラムの重要な一部です。



エレメンタリースクールでは、子ども達にlearner profileへの認識を高めてもらおうと表彰を行っています。生徒、保護者、教員、それぞれがそれぞれを表彰し合うことのできる機会を設けています。表彰された生徒の様子などエレメンタリー オフィスの前に掲示してありますのでご覧ください。エレメンタリースクールの毎日の中で、learner profileの姿を感じていただけたらと思います。

また、エレメンタリースクールでは月ごとにひとつのprofileに焦点をあて、子ども達への理解を広げています。今月は**挑戦する**ことに取り組みました。K3Bクラスは**挑戦する人**とは新しいことに恐れず挑戦する人であると考えました。またK2クラスではピースの多いパズルや苦手な野菜に**挑戦する**姿がみられました。Grade 2の子ども達は友達の輪を広げたり、普段とは違うゲームを試してみるなどを通して**挑戦者**になっているようでした。



挑戦する姿勢で表彰されたG2のKishoreとPatrick

次のprofileは**バランスのとれた人**です。**バランスのとれた人**とは何かを、ぜひご自宅でもお話になってみてください。Learner profileに基づいた子ども達の姿を伸ばしていくためにも、ご協力をお願いします。

Elementary SRC(生徒会)

Elementary Student Representative Council (生徒会)は、生徒皆の意見を反映し、よりよいエレメンタリースクールの環境を作っていくための様々な活動をしています。前号の*The Comet*でもお知らせしましたが、昨年11月にはfree dress dayを実施しました。集まりました金額、67,000円は、半分を東北の被災地に、半分はエレメンタリーライブラリーの図書の購入にあてられることになりました。被災地への資金は団体"Save MLAK"(博物館・美術館、図書館、文書館、公民館)を通して東北地方の新しい図書館の書棚購入にあてられます。ご支援、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

Elizabeth Heard
PYP Coordinator

IDカード

学校では、G1からG12までの生徒全員と、の保護者全員にIDカードを発行しています。IDカードはさまざまな用途で使用され、その一つはメインゲートを開けるという機能です。重要なのは、IDカードをスキャンすることで、生徒の学校敷地内への入退出時間が記録されることです。これは安心安全上の理由から非常に大切であることはお分かりいただけたと思います。

3月中、校長とオフィススタッフが交代で毎朝メインゲートに立ち、生徒がカードを使っているかどうかを観察しました。大多数の生徒がカードをきちんと使用しているというたいへん好ましい結果がでましたが、使用していない生徒もいました。また、朝一旦校内に入ってから、コンビニに行くために外に出ようとする生徒が何人も見受けられました。

今一度、次の項目を確認し、厳守されるようお願いいたします。

- 生徒は全員必ず、朝の登校時と午後の下校時に自分のカードをスキャンしなければなりません。ゲートが他の人によって開けられていて通ることができるとしても、必ず自分のカードをスキャンする事。
- 生徒はコンビニで買い物をするためなどの理由で学外に出ることはできません。買い物等は登校前にすませてください。
- 保護者の方が学校に来られる場合は必ず、ご自分のカードをお持ちになり、ゲートの入退出の際、カードを必ずスキャンしてください。

今後数週間、数か月間、生徒(そして保護者の方)がきちんとカードを使用しているかを、不定期にチェックさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



セカンダリースクールニュース

Personal learning environments

前回のCometではセカンダリースクール生徒の学習をサポートするために使っている3つのシステムを紹介しました。Live@Edu, Moodle, そしてついにお目見えしたPowerSchoolの3つです。“保護者用”のLive@Eduアカウントにアクセスしていない場合はITオフィスにユーザーネームとパスワードを問い合わせてください。これは生徒が利用しているPersonal Learning Environments (PLEs)と呼ばれている、学習サポートのシステムと同じです。保護者の方は、Eメールが自動的に個人用のアカウントに自動的に転送されるようにセットアップする事も可能です。自身で設定を行わなくてはなりませんが、必要ならばITオフィスはいつでもサポートを提供します。

Personal Learning Environments (下記参照)では、生徒に必要な情報が一か所に集まるようになりました。各クラスの先生が提供する情報や、生徒の学習をサポートする資料、LMC(図書室)での資料検索をしやすくする、図書館カードカタログのようなものへのアクセスもここから出来ます。Moodleからでもセカンダリーブログへのアクセスは可能となっております。これらのシステム全てが学校のウェブページからアクセス可能となっ



Live@Edu は学校のウェブサイト

からアクセスできます。

ておりLive@Eduアカウントを使う事により、各生徒個人のPersonal Learning Environment(学習環境)が作られます。最近のセメスター1レポートは、昨年までのレポートと形式はほぼ同じですが、作成の仕方は去年までのものと大きく変わりました。今回初めてPowerSchoolの成績表の機能を使いレポートを作成したのです。今回のレポートで反映された出欠は、毎朝のホームルームでの出席情報のみですが、各クラスで先生方も遅刻、欠席の記録を残しています。セメスター2では、先生方がよりPowerSchoolの成績表の使い方に慣れ、更なる生徒の学習サポートが期待されます。来年度(2012-2013)からセカンダリーの生徒と保護者は、インターネット経由でパスワード保護されたPowerSchoolのページにアクセスが可能となります。これにより今まで通りのレポートに加えて、年度を通して先生のコメントや生徒の出席状況などがすぐに分かるようになります。

PowerSchoolに関してましては、今年度が終わる前に詳細を伝えます。保護者の皆様には、お子様にLMCを含めたMoodleのページを見せてもらう事をお薦めします。そうすることにより、どのような方法を使ってKISTで勉強しているのかが分かると思います。

生徒活動

KISTにはたくさんの生徒活動がありますが、今回はHabitat for Humanityとイヤーズブッククラブに焦点を当てていきたいと思ひます。

多くの方がご存知の通り、Habitat for Humanityというのは貧困に苦しむ



H4H Café と「常連客」の方々

人々への関心を高め、必要としている人たちのために家を作り直接的な手助けをする事を目的としています。今年のこのクラブもMr Batesの指導の下で活動しています。Habitat Clubは定期的に集い、どのようにして関心を高め、セメスター2の終りに予定されているタイ東部での活動の資金を集めるかを話し合っています。

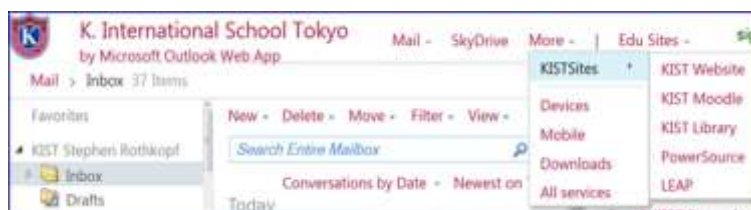
クラブとしてダンスとフリードレスデイのスポンサーを

し、最近ではHabitat Caféを始めました。生徒達は週ごとにメンバーを決め、月曜日と金曜日の朝8:00-



8:30までの間に学校入口付近(エレメンタリースクールビルの1階)でコーヒーを売り資金集めに励んでいます。この活動ではコミュニティのサポートのおかげで、週3000-6000円集まります。この集まったお金はタイに行くメンバー全員に均等に割り振られ、助けが必要な現地の方々の生活レベルを上げるための家づくりの資金となります。活動にかかる費用が問題となりますが、コミュニティのサポートによって旅費の負担が減る事により、メンバー全員が参加できるようになります。

Continued next page



生徒は Live@Edu から自分の

Personal Learning Environment にログインできます。

Continued from previous page

学習の観点からみるとイヤブックスクラブもHabitat for Humanityと共通する部分があります。ゴールは違っていますが、両方とも生徒が中心となって活動しています。イヤブックスクラブでのアクティビティは、生徒が学んだスキルとそれを共有する事が中心となっています。今年のイヤブックスは生徒のボランティアにより作られ、Mr Itoが顧問となりクラブとして定期的に集まっています。生徒達は基礎的な写真の技術とデジタルで編集する事を学び、ホームルームのページを作る他の生徒達にその方法を教えます。この活動をしているほとんどの生徒はDPの生徒ではありませんが、DPのモデルとなるlearner-to-learner (学ぶ人から学ぶ人へ)という関わりがHabitat for Humanityと似ています。それを違った方法で推進しています。彼らの努力の結晶はイヤブックス、Habitat for Humanityは貧困に苦しむ人達へのより良い住居という形になって現れます。この学習モデルは生徒が必要な生涯学習スキルを向上させ、生徒の社会性を養うことができます。

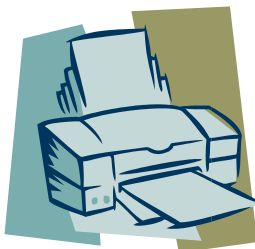
Moderation vs Standardization

10年生では、全ての教科の学内評価が、サンプリングされて外部による評価(モデレーション、またはIBの審査官による評価のモニタリング)を受けます。MYPの8教科全てで、3-4つの課題を教科の先生たちが話し合います。そしてこの話し合いで(9月~4月)共通の理解を持つために、達成レベルが話し合われ、学内評価を決定し、それがIBに確認のため送られます。学校がIBの規定に沿っている

かを確認するためのレポートが10月に学校に戻ってきます。6-9年生の課題にもこれと同じ方法で学内での評価を統一しますが、セメスターにつき1つの課題でしか行いません。IBに送らずに学校内、先生達の間で共通の認識を持つために行われる事により、この過程はStandardizationと呼ばれています。これを行い先生が協力し合う事により、評価にさらに一貫性を持たせることができます。

保護者のサポート

保護者の方が勉強のサポートを出来るエリアがあります。学校は全てのお子様に学習の資料としてインターネットとプリンターがご家庭で使えるようお願いしてきましたが、プリンターが使えないといってくる生徒が多くいます。どうぞ、ご家庭でもプリンターが使えるようにご用意ください。



Facebookがまた問題となりました。生徒のFacebookの使い方については常に心配しています。Facebookは学校とは関係の無いウェブサイトである事から保護者の皆様のサポートが必要となります。インターナショナルスクールという環境において、世界中にいる友達や家族と連絡を取り合うのにとっても良い方法です。しかし心配しているのは、生徒同士の会話が不適切なものになり、お互いを傷つけるような発言があるということです。Facebookに発せられるコメントは簡単には取り消せるものでない上に、

facebook

会話の前後関係を確かにするジェスチャーや表情などの従来の顔を合わせた会話にあるものはありません。何人かの生徒が使っている言葉はとて不適切であり、学校では許されません。Cyberbullying(インターネット上でのいじめ)も含めてどのようないじめもあってはなりません。従って保護者の皆様には、お子様のアカウントについて知り、オンラインでのコミュニケーションに適切な言葉とマナーを使うように注意して下さい。

Facebookはインターネットが始まって以来最も多くのユーザーを持つ可能性のある多くの人々に公開されたサービスです。学校や誰にも知られたくない事、不適切な言葉はFacebookには載せないで下さい。

保護者の方ができる事として:

- 13歳以下の生徒にはアカウント作成を許さない
- プライバシー設定を見て、“友達”にしか情報を開示していない事を確認する
- 保護者は子供のパスワードを知っておくべきです

よろしくお願いいたします。

Stephen Rothkopf



Mr Rothkopf

黙祷

2011年3月11日(金)に東日本大震災が東北地方を襲いました。震災から1年が経ち、3月12日(月)に学校全体で2:45pmに黙祷をしました。当日の朝は、地震・津波に備えるための避難訓練も行いました。津波の避難訓練として、全生徒、教員、スタッフと訪問者はWest Buildingの3階以上に避難しました。津波に対する避難訓練ははじめてでしたが、生徒の避難移動の様子を観察し寄せられた意見は今後役に立っていきます。

ニューフェイス



Emma Hallは、当校の新しいプログラム、英語インテンシブクラス(EIC)の英語と人文科学の担当として、セカンダリーに新たに着任しました。教育の修士号を取得しており、経験豊かな教師です。

Emmaさんからの一言。「はじめまして、Emmaと申します。最近までドバイにあるK-12までのIB校でMYPコーディネーターをしていました。ニュージーランドでは、セカンダリーのすべての学年教師をした経験があります。EICの生徒達と一緒に英語力を高めていくお手伝いをするを楽しみにしています。」

Welcome to Emma Hall and Shana Graves. We wish you all the best in your new positions.



Shana Gravesは、Catrina Christianが新しくできたEICに移動となった為、変わりにK1のアシスタントとしてエレメンタリーに新たに着任致しました。Ms Gravesは、放課後のLEAPも担当致します。

Shanaさんからの一言。「こんにちは、Shanaと申します。KISTの一員となることができ、わくわくしています。K1の生徒達の学習を手助けすることや、LEAPプログラムの一員となれることを、とても楽しみにしています。校舎で見かけたら、是非声をかけて下さい。」

英語インテンシブクラス

理事長のMr Komakiからお知らせがありました通り、KISTでは今年度の4月2日から英語のサポートの必要度の高いGrade 6からGrade 9の新入生を対象としたEnglish Intensive Class(英語集中クラス)を開校します。EICは授業に必要な道具となる英語力と数学力の育成に焦点を当てた授業を集中的に行い、生徒がSecondary Schoolのクラスに移り、成功を収めるよう必要なスキルを身につけることを目的としています。現在KISTのSecondary Schoolでは通常の授業内で行うEnglish Language Support (ELS) Programを導入していますが、サポートの必要度の高い生徒を対象にEICを提供することで、学校全体の英語力を上げることが可能になります。また、EICの生徒は将来KISTのSecondary Schoolに移ることを目標としているため、EICの入学選考の際にはSecondary Schoolに現在在籍している生徒も含め、国籍や性別のバランスを考慮しています。

また、EICのEnglishとHumanitiesの教員として**Emma Hall**がKISTの教員メンバーとして加わりました。Mrs Hallは中学・高校の全ての学年を教えた経験があり、以前働いていた学校ではMYPコーディネーターを務めていました。その他の科目はすでにKISTスタッフメンバーで教師の資格をもっている下記の先生が授業を受け持ちます。
Matthew Archibald: G6 math, G6/7 science
Nanami Komaki: G7 and G8 math, G8/9 science
Jun Hishiyama: G9 math
Christian Thompson: Technology
Masumi Hori: Japanese
Akihiko Nogami: Japanese, PE

また、アシスタントとしてCatrina ChristianがG6/7のEnglishとHumanitiesの授業に入り、Mrs Hallをサポートします。KISTはEnglish Intensive Classの開校をとても楽しみにしています。

Nanami Komaki
EIC Coordinator

学校美化計画

今年度の学校美化計画が、先日最終決定致しました。4月から着手し、4月～5月にかけて行われる予定です。この計画は、校舎の見栄えを良くする為、校舎内の壁やドアを再塗装する予定となっております。

前年度のように、学校コミュニティ全てのセクションからのボランティアを歓迎します。参加したセカンダリーの生徒は、その努力をコミュニティサービスもしくはCASの単位とすることができます。

詳しい情報につきましては、まもなく全てのご家族にご連絡する予定です。金曜日の午後1時にセットアップや道具の準備を、そして土曜日には塗装を行う予定です。是非皆様ふるってご参加下さい。



保護者の皆様、

KISTの保護者の一人として、この場をお借りして全保護者の皆様にお伝えしたいと思います。お子さんの制服、特に上着(カーディガン、ジャケット、コート)に名前が書いてあるか、ぜひ一度ご確認下さい。校庭などに置き忘れたまま、どこかに消えてしまい、不思議なことにそのまま「遺失物箱」にも出てこないことがしばしばあります。

別の場所に移動されていたり、盗まれたり、もしくは他の生徒が「借りて」しまうことは、嫌な気持ちになるだけでなく、経済的にも負担となってしまいます。保護者の方々に、全ての持ち物に名前が書いてあるか、今一度ご確認頂くようお願い致します。ご協力ありがとうございます。

ちょっと気になっている保護者より

図書室ニュース

What's been happening at KIST Libraries?

International Mother Language Day

2月22日、International Mother Language Day(国際母語の日)を祝い、エレメンタリーではたくさんの楽しいアクティビティーを行いました。生徒、教員、保護者は自国の民族衣装を身に付けたり、お話を紹介したり、他言語のことはよくつか学んだり、国際色豊かな工芸品や本の展示をみたり、インタラクティブなアクティビティーをしました。

このすばらしい催しのために、時間を割いてくださったPTA Cultural Connections Committee や Library Committee のメンバー、保護者、セカンダリーの生徒、スタッフの皆さんありがとうございました。毎年このイベントを行い、KIST コミュニティーのすべての言語と文化をお祝いし、コミュニティーの方全員が楽しみにできるものとなりますように！

LMCとエレメンタリーライブラリーには、世界各国の言語で書かれた新しい本が増え、今後もコレクションの拡充をします。お手持ちの本を寄贈されたい場合は、どうぞPTA Library Committee にご一報ください。

民族衣装パレード、展示会、ストーリーテリング/言語シェアリングの写真をご覧ください。すばらしい日でした！

Sakura Medal

両図書館ともに桜メダル図書は大人気でした。G2-G5 は日本のインターナショナルスクールのライブラリアンが選んだ絵本とチャプターブックを、セカンダリー生徒は世界中の新しい本を読みました。生徒は英語か日本語で書いたブックレビューを LMC またはエレメンタリーライブラリーの Moodle ページに載せることができます。一つのセクションから4冊を読んだ生徒は、自分のお気に入り投票をすることができます。投票は4月に行われ、ゴールデンウィークには、桜メダル受賞者が発表されます

Future developments

LMCでは、セカンダリー生徒が使用済みの教科書を買ったり売ったりできる「マーケットプレイス」の設置準備をしています。上の学年に進級したり、卒業したりする生徒の多くが教科書をリサイクルしたいと思っていることに気付いたからです。ご家庭の支出を抑えるだけでなく、環境にも良いと思います。詳細は追ってお知らせいたします。



バスケットボールクラブ活動報告

A slam dunk season!

KISTのバスケットボールのシーズンが終わりに近づきましたので、全てのチームの進捗状況をお知らせしたいと思います。今年ミニバスケットボール(エレメンタリー)では、男子も女子も非常によく頑張り、代表チームになれる程のレベルとなりました。

ミニバスケットボールチームは、3月9日にブリティッシュスクール(BST)で試合をし、2つのチームと戦いました。どちらもとても良い試合で、勝利記録を持ち帰りました。ミドルスクールの男子チームは決勝戦まで進み、ISTAAの成績で2位をおさめました。ミドルスクールの女子チームは東京インターナショナルスクールでTISの女子チームと戦い、2012年ISTAAのチャンピオンとなりました!

今年、当校の学校代表チームは、向上と献身を大いに発揮し、多くの賞を持ち帰ることができました。女子代表チームは、ISTAAレギュラーシーズンでは2位となりました。また今年は、以前負けたことのある、横浜インターナショナルスクール(YIS)で開催された試合に参加しました。ここでは、今期のバスケットボールシーズンで一番良い試合をすることができ、タイトルをとることができたのです! 女子チームは、YIS、St. MaurとOsaka Interのチームに勝つことができました。彼女達は自分達の素晴らしいプレーと、また他のチームの素晴らしいプレーに驚いたようです。KISTは彼女達のことを誇りに思っています!

今シーズン、男子代表チームも大きな感動を与えました。男子はレギュラーシーズン勝ち続け、トップのまま試合終了となりました。決勝戦ではライバルであるISSと、今期3度目となる試合をしましたが、過去の経験を生かし、42対26という素晴らしいスコアで試合終了することができました。その結果として、3月13日にISSで行われたISTAAのオールスターゲームにRyosuke (G12)、Brandon (G12)、Salam (G9B)、Adam (G10B)の、4人の選手を送り出しました。KISTはBSTとKAISの選手とチームを組み、ISS、コロンビアインターナショナルスクール、カナディアンインターナショナルで編成されたチームと戦いました。私たちのチームは54対30という成績で勝つことができ、BrandonはそのゲームでMVPIに選ばれました。

今年の全てのバスケットボール選手の方々、おめでとうございます。そして参加してくれ、またコーチ、チーム、また学校に献身してくれて、ありがとう。また来年も、素晴らしいシーズンとなることを期待しています。いけ、コメッツ!

Jay Leroy and all the KIST coaching staff



なぜ、私が水系感染症への関心を高めたのか。

私は日ごろから水処理システムに関心をもっていました。水が毎日どのように再利用されているかを知り、ますます興味を持ちました。しかし、水が正しく処理されていない国もあり、その水を口にすると人々に影響を与えています。

腸チフスと診断された時私は9歳でした。その頃祖国であるパキスタンを訪ねており、間違えて消毒されていない水を飲んでしまいました。家族と共に日本に戻り、3つの病院を回り、赤十字の病院にも行きましたが2週間以上も診断結果を待たなければなりません。

その経験から、パーソナルプロジェクトという機会を利用して、あまり知られていない水系感染症への関心を高める事にしました。いかに正しく消毒濾過されていない汚染された水が危険であるかということ、そして世界のどこかで人々は汚れていない水源を探しているという事を知って頂きたいと思いました。10億人を超える人々がきれいな水を確保できておらず、毎年3百万人以上の人々が水感染症にかかっています。リサーチを通してThe Water Projectと呼ばれる組織がある事を知りました。

The Water Projectは世界中から資金を集め、アフリカの国々を巡り井戸を作っています。The Water Projectに寄付をするための資金を集める事によって、関心を高める事が出来ると思いこのグループに参加する事にしました。

しばらくしてから、私達はFree Dress Dayを学校でやるというアイデアを思いつきました。その前に行われたValentine's Danceではたくさんのリストバンドを売る事もでき、皆様の協力により¥48,000集める事が出来ました。このお金はアフリカのコミュニティーに寄付され、命を救う可能性のある井戸を作るために使われます。

私のパーソナルプロジェクトを監督しアドバイスをくれたMs Thomasと、私の考えをサポートしてくれたMr Rothkopf、そして何よりも寄付をして下さったKIST Communityに感謝の言葉を申し上げます。

今回のプロジェクトが良い例となり、The Water Projectのような組織に寄付をするための資金集めが、次の世代によっても続けられていく事を望んでいます。より詳しく知りたい方はこちらのウェブサイトをご覧ください。

<http://thewaterproject.org/how-to-give-clean-water.asp>

Bilal (G10B)



DPニュース

G11: Extended Essayの経過

前回のニュースレター発行以降も11年生はDPカリキュラムの一環としてExtended Essayを続けています。この段階では既に研究課題とリサーチクエスションも決まっているはずで

す。全ての11年生は、3月に5-10分アドバイザリークラスの時間を使いExtended Essayの概要を詳細に説明するプレゼンをクラスメイトの前で行わなければなりません。これはExtended Essayにおいて大事な過程であり、何をより詳しく調べなければならないのかということが、このプレゼンを通して明確になります。

11年生の保護者の皆様はMoodleを使いEEについて詳しく知る事により、生徒を助ける事が出来るようになる事と思います。Moodleにある、DP Extended Essayのページには保護者の皆様が生徒を助けるのに必要な資料全てがあります。3月16、23日にあるEEのプレゼンについても聞いてみて下さい。

次の大事な期日は5月の後半にあります。それまでに最初のドラフト(下書き)を完成させ、監督者となっている先生からコメントをもらわなければなりません。

大変興味深いピックやリサーチクエスションがあり、11年生が何を発見するのかを楽しみにしています。

Mark Cowe **Andi Licuanan**
EE Coordinator Teacher-Librarian

11年生のTOK: 今何をしているのでしょうか!

金曜日の最終ブロックは、TOKコースを続けている11年生にとって活気あふれた時間となっています。前回のニュースレターでも説明しましたが、TOKとは他のクラスとは異なったタイプのクラスです。それを明確に示しているのが、今は3人のTOKを教える先生、Mr Cowe、Mr Young、Mr

Junが順番にWays of Knowingについて授業を行っていることです。

“ *The Ways of Knowing are the “lenses” or “tools” with which we gain* ”

Ways of Knowingとは知識を得るための“レンズ”、又は“道具”であるとIBのTOKコースでは説明されています。ひと月ごとに違った先生が授業をしている理由は、その分野の専門の先生によって授業を受けられるというのが理由にあります。例としては、DP生物学を教えているMr Youngは“知覚”というWay of Knowingを教えています。知覚は自然科学や科学的手法の基本だからです。

11年生のMoodleにあるTOKのページには、先生がTOKの授業を行う際に必要な資料全てが載っています！TOKについて詳しく知りたい保護者の方はMoodle、もしくはKISTウェブサイトにあるDPコース概要をご参照下さい。お子様にTOKの授業で行ったアクティビティやTOKジャーナルについて聞いてみて下さい。

4月から5月にかけて11年生達は、TOKエッセイという今まで彼らが取り組んできた学校の勉強の中でも特に難しい大事な課題を行い始めます。

11年生の保護者の皆様は、SLCの日にTOK、EE、CAS、そして他の教科についても、生徒のポートフォリオを見る事によって理解が深まったのではないのでしょうか。



Mark Cowe

TOK Coordinator

Andrew Young

Jun Hishiyama

TOK Teachers

Grade 12 DP assessment update

3月と4月は世界中のDPを学んでいる12年生にとって、とても忙しい時期となります！KISTも例外ではなくこの期間中、12年生達は校外で評価される大事な課題(External Assessment)を終わらせ、5月にある最終試験の準備を行います。

SLCの日に12年生達は例年とは異なり、KISTポートフォリオのプレゼンを行わず、録画されその日のうちに採点される事となるTOKのプレゼンを行いました。これはとても大事な課題であり、保護者の方々も招待され見学しに来ました。

4月に美術のクラスの生徒は、教科担当のMr Batesの指導の下、展示会を作りあげます。展示会当日に彼らの作品について話を聞く事を楽しんでいます。

12年生の保護者の方々には、5月に行われる最終試験の日程を生徒に確認してみてください。各生徒は自身のテストスケジュールを持っています。残念ながら5月3、4日にも試験があるため、12年生達にゴールデンウィークはありません。しかし5月の終わりには、最終試験、通常クラスも終了し、大変だった2年間の終わりを祝い、卒業を待つのみとなります。

Mark Cowe

DP Coordinator



ミドルスクールスペリングビー

KISTの6-8年生の生徒達は1月から、年に一度行われるスペリングビーに向けて勉強に励みました。英語の先生方はこのイベントのために、単語、発音、スペリングを練習する課題を作りました。各学年でスペリングビーを行い、ミドルスクール全体(6-8年生)で競う学年代表を選びました。

学年代表に選ばれた生徒は:

6年生: **Yi-Ting, Amina, Rachel, Liang**

7年生: **Kotone, Armina, Arjun, Akshara**

8年生: **Angela, Jung Yup, Aditya, Shah Raj**

2月3日に6-8年生の学年代表全員でスペリングビーを行い、他の生徒もその様子を見学していました。出された問題には**extemporaneous**、**pituitary**、**circumlocution**、**phylum**、**scythe**、**feign**、**whimsical**などの難しい単語が含まれていましたが、これら全てのスペルが正しく回答されました。最後に残った7年生の生徒が**philosophize**のスペルを間違え、最終ラウンドには3人の6年生と1人の8年生が残りました。残った生徒全員が**negotiable**という単語に苦しんでいる時にドラマチックな最後を迎えました。全員が間違えた後、8AのAngelaは自信を持ってマイクに向かい、躊躇せずに正確にスペルを読み上げました。校内で行われた学年代表で競われたスペリングビーは9ラウンド、45分もの間行われました。参加した全ての生徒のレベルは非常に高く、難解な言葉もスペルする事が出来ました。参加者全員おめでとう!



学年代表で競い合って勝ち残ったAngelaは3月10日(土)に行われたナショナルスペリングビーで学校を代表し、他校のレベルの高い生徒達と競いました。

Kara Haines

Secondary School English/Humanities Teacher



KIST Hosts Middle School Brain Bowl

一か月に何回月は地球を回るのでしょう? 2011年にツイッター上で一番人気のあったハッシュタグは何でしょう? Roald Dahlの本の題名をいくつ挙げられますか? 生徒が夢中になって、間違えないように答えを書き始めた途端会場は熱気に包まれました。この光景は一体何なのでしょう? もちろんBrain Bowlです!

2月8日(水)に、東京、横浜周辺にある10校のインターナショナルスクールの生徒達がKISTに集まり、常識問題とトリビア的な知識を競い合いました。このイベントのとても良かった点は、学校ごとで競い合うのではなく、グループを混ぜて、違う学校の生徒と触れ合う機会があったという事です。



KISTを代表して参加したのは、**Arjun, Radhika, Hardik, Akshara, Oshin, Yasmine (G7), Hee Yong, Kunthu (G6)**でした。みんなそれぞれのグループに貢献し、活躍していました。特にArjunのグループは全体の3位に入るとても良い成績を収めました。

この日のために率先して、献身的に協力してくれた全生徒に感謝します。たくさん笑顔と笑い声があり、とても良い1日となりました!

Wendy Gore

Secondary School English/Humanities Teacher



Staff 10!

今月は2010年から放課後のLEAPプログラムの先生として学校に加わり、2011年8月からはK1の担任を務めていらっしゃるWilhelm Merchel先生です。



三歳児のアートの複雑さについて
検討しているMr. Wilhelm

● ご出身地について面白いことを教えてください。

私はポーランドの北部グダンスクに生まれました。グダンスクと隣接する二つの都市グディニアとソポトはその強い結びつきにより、3都市(Tricity)と呼ばれています。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

好きな場所というよりは、行ってみたい場所としては、美しい紺碧のビーチですね。空を眺めながら、波の音に耳を傾けたいと思います。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

Steve Jobsです。人生における挑戦について話をしてみたいです。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

とくにありません。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

実はある時期、航空管制官を目指していたことがあります。それには相当の準備と用語やルールなどを自習する必要がありました。厳しい試験プロセスも通らなければなりませんでしたが、私にとっては忘れることのない素晴らしい経験となりました。

● あなたにとって一番の宝物は？

私は、物質的なものが幸福をもたらすとは考えていません。物は壊れることもあるし、古臭くなってしまうこともあります。私はiPadや最新のコンピュータ、ファンシーな携帯電話や服は持っていません。私は大事にしたいものにお金を使いたいと思います。

● ご自分を言葉で表現すると？

うーん、楽道家かな。あまり好ましくない状況でもあきらめないタイプです。忍耐強い - 物事には時間がかかることがあり、われわれの努力の結果は待たないとわからないことがあります。バランスが取れている - 時には瞬時に判断することも好きな一方、じっくり計画を練って実行していくのも好きです。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

ありきたりに聞こえるかもしれませんが、何か他のことをやり直したいとは思いません。皆さんの人生と同じく、私の人生には良い時も悪い時もありました。でも、私は自分で選択した道を歩んできて今があります。今私はハッピーです。

● 自分を高めるために今やっていることは？

あります。日本語力を高めようと努力していて、近い将来日本語能力試験N3の合格を目指しています。また、ドイツ語力向上のためにもっと時間を使いたいと思っています。

● ファンに一言お願いします。

KIST コミュニティーの皆さんのたゆまないご支援と一体感に感謝しています。

オフィスアップデート



学校内での携帯電話使用について

エレメンタリー生徒は、朝学校に到着したことを家族に報告する時と、下校時にお迎えを頼む時以外は、学校内での携帯電話の使用は禁止されています。セカンダリー生徒も学校内での使用は禁止ですが、各授業の開始時に教員が教育目的での使用を許可した場合を例外としています。セカンダリー生徒はいかなる理由があろうとも休み時間やランチ時間に携帯電話を使用することは禁止されています。保護者の方で、学校時間内にお子さんと連絡を取る必要がある場合は、オフィスに電話をしてください。

自転車置き場の利用について

スクールエントランス付近にある自転車置き場を利用する生徒は、西館校舎の裏の奥の方に自転車を置くようにしてください。エントランスの近くに駐輪すると、非常用出口(黄色のペンキが塗られています)のドアをふさぐだけでなく、他の利用者の通行の妨げにもなります。



この駐輪場は自転車で通学している生徒専用ですが、PTAやSSPの仕事など特別な目的で学校に来られた保護者の方も利用可能です。ただし、スペースに限りがあるため、個人的な理由での使用はご遠慮願います。

赤の男児用自転車がしばらく前から駐輪場に置きっぱなしになっています。4月2日(月)までに、取りに来なかった場合は、処分させていただきます。

Canon使用済みカートリッジの回収

西館1F玄関脇に、Canon使用済みカートリッジ専用回収ボックスが設置されました。Canonへ送るとベルマークポイントになり、集まった点数でスクールサプライと交換できるシステムです。ぜひ皆様ご家庭でCanonのカートリッジを使用されている方は回収にご協力ください。キャノン以外のカートリッジは回収出来ませんのでお持ちにならないください。また、袋や紙箱、テープ等カートリッジ以外も回収できませんので、ご注意ください。



い。

スクールナース

「保健たより」のコーナーにありますとおり、スクールナースのMs Nameshidaが、5月に退職されることになりました。KISTでの勤務は短期間ではありましたが、学校に尽力してくださいました。ありがとうございました。ご主人と一緒に赴任される中国でのご活躍をお祈りいたします。学校では現在新しいナースを探しています。決まり次第お知らせいたします。



MYPニュース

パーソナルプロジェクト展覧会

2月24日(金)KIST体育館にて、全生徒、先生、保護者に向けて、10年生の生徒全員が今年度取り組んできたパーソナルプロジェクトの最終ステージである展覧会が開催されました。10年生の生徒達は一日を通して、6-9年生達にプレゼンをする事から始まり、その夜には保護者やコミュニティーの方々にプレゼンをしました。

とても興味深い様々なトピックのプレゼンが作者本人達によって行われました。生徒達には知識があり、想像力豊かで、将来への計画性があるという事が示されました。これらはIB学習者像として欠かせないものであり、全ての生徒がKISTを卒業するまでに体现できる事を願っています。

今年のパーソナルプロジェクトは文化の多様性から、技術的な実験まで多岐に渡りました。今年の展覧会では、IB学習者像の特徴と繋がりのある様々な才能や関心を見る事ができました。それによって、教育というのは探究を続けていく事だというのが再確認できました。



監督者になった先生方の協力にもより、全ての生徒がパーソナルプロジェクトの目的を達成する事ができ、MYPの最終目標とも言えるイベントを無事に成し遂げました。しかしより大切なのは、パーソナルプロジェクトの過程を通して10年生達が、自分たちとコミュニティーにこれから先にある難しい学業への準備ができていると証明できた事だと思いません。

Vedrana Pavletic
MYP Coordinator

保健だより

だんだんと暖かくなりこれからしばらく気持ちの良い季節が続きますが、春は同時に麻疹(はしか)や花粉症の季節ともなります。

麻疹

麻疹は以前に比べ流行の季節性がなくなっていますが、春から夏の間にかかることが多い伝染病です。多くのお子さんが予防接種を済ませていると思いますが、麻疹は重篤な合併症を発症することもある病気なので、まだ予防接種をされていない方は是非うけられることをお勧めします。予防接種に関してはお近くのクリニック等にお問い合わせ下さい。

麻疹の症状として、まず通常38-39度の高熱が3~4日間続き、いったんやや下がりが気味となりますが、その後発疹の出現とともに、再度39-40度の高熱が数日続きます。また目やに、咳、痰が出たり、発症して4日目位から発疹が出きます。最初は2-3mm程度の丸い紅色の発疹が顔面や首に出現しますが、その後発疹は胸や腕に拡大し、背中やお腹、足などにも広がります。

麻疹は空気感染するため学校で流行することが多いです。予防接種をうけていても感染することがありますので、上記の症状が出た場合はすぐに病院へ行って下さい。

花粉症

花粉症は、近年子供の中でも目立つようになっています。残念ながら一度花粉症になると完全に治す方法はまだわかっていませんが、できるだけ症状を軽くすることはできま

保健室はオフィスの横にあり8:30-3:30利用できます。

す。十分な睡眠、規則正しい食生活によって免疫機能を高める、花粉症用のマスクを着用する、花粉が付きやすいウール等の洋服を避ける等が、日々実践できることとしてあげられます。

関東地方ではすでに2月中旬から花粉が飛び始めておりますが、2012年の花粉予報によると昨年よりも花粉は少ないと予想されています。是非、この機会に一度生活習慣を見直し、体質改善に取り組んでみて下さい。



最後に

私事ですが、この度、夫の一時的な海外駐在に同行することになり、5月2日をもって退職することとなりました。GWより中国のあんき省に住む予定です。KISTの生徒もスタッフも本当に素晴らしい方ばかりでしたので、今回退職する事は非常に残念ですが、また皆さんにお会いする機会があればと思います。

短い間でしたが、皆様本当にありがとうございました。

Mari Nameshida
School Nurse
mari.nameshida@kist.ed.jp



Ms Nameshida

ニットクラブ活動報告

KISTのニットクラブでは2学期、大きな動きが起きています。秋にエレメンタリーの小さなクラブとして始めたニットクラブですが、現在ではエレメンタリー・セカンダリー合わせて27人の生徒と、ご両親、教員、兄弟姉妹の方までもが参加してくれるクラブとなりました。

エレメンタリーのニットクラブはセカンダリーのニットクラブと協力し、生徒達のスキルを磨くため、毎週水曜日に集まっています。これらのスキルは、ガーター編み、ストック編み、ゴム編み、かご編み、更には縄編みやレース編みまで含まれます、これらの素晴らしい製作物は近々つなぎ合わせ、クラブ2作目の気持ちの良いアフガンができあがります。

通常のクラブ活動に加え、2回の金曜日にわたって行われたBernd Kestlerによる「Knit for Japan」で、マフラーを編みました。Knit for Japanは、編み物用品を取り扱うMr Kestler によって開催されたチャリティで、東北地震の被災者に編み物を届けてくれます。保護者、教師、そして生徒達は、ニットクラブで最初に編んだブランケットに加え、今回約40ものマフラーや帽子、ネックウォーマーを編み、またとても楽しむことができました。

ワークショップに参加して下さった皆様、ありがとうございました。皆さんのハードワークと笑い声で、とても楽しい経験となりました。ワークショップは、ニットクラブの常任ヘルパーで、自身もベテランニッターである、PYPコーディネーターのMs Heardがオーガナイズしました。

最終期、(すでにメンバーに入っている方も新規の方も含めて)初心者から経験者までニッターの方々にお会いできること、また新しいプロジェクトを始めることを、楽しみにしております。さあ、編みましょう！

Allison Rabenau and Jenny Thomas
Club Leaders



セカンダリーイヤーブッククラブ

イヤーブッククラブは今年から始まった新しいクラブです。活動内容は、年度を通して行われるイベント、クラブ活動に参加している生徒の写真を撮る事です。他には、スケジュール調整、写真管理、ページレイアウトのデザイン、記事の作成なども行っています。そして、クラブ活動を通して学んだことを各クラスの代表生徒に伝え、ホームルームのページに各クラスの特徴を出す手伝いをします。全生徒がKIST Communityの誇りとなるイヤーブック作成に励んでいます。

イヤーブックのアームバンドを付けた生徒を見かけた場合は最高の笑顔を見せて下さい！

Andre Ito
Yearbook Coordinator



ページデザインについて話し合っている様子
ページレイアウトを協力して作成中

カレッジガイダンスニュース

2012年卒業生(現12年生)大学合格速報

大学への出願期間はそれぞれの大学により異なり、出願方法も国によってさまざまですが、英国、米国、カナダ日本など北半球の大学の出願時期が集中する時期はガイダンスオフィスが年間通してもっとも忙しい時期でもあります。すでに大学に出願した生徒の中には返事をもらっている生徒や結果を待っている生徒がいます。下記は、現12年生の2012年3月10日現在の合格大学リストです。おめでとうございます！これからも次々と合格の知らせが入ることでしょう。続報は次のThe Cometで。
(*奨学金付き)

USA

WILLAMET UNIVERSITY*
SEATTLE UNIVERSITY
PACIFIC LUTHERAN UNIVERSITY*
NORTHEASTERN UNIVERSITY
SAVANNAH COLLEGE OF ART AND DESIGN*
OTIS COLLEGE OF ARTS AND DESIGN

CANADA

MCGILL UNIVERSITY
UNIVERSITY OF BRITISH COLUMBIA
UNIVERSITY OF WESTERN ONTARIO

JAPAN

SOPHIA UNIVERSITY (Green Science) (Liberal Arts)
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY (ICU)
WASEDA UNIVERSITY (SILS)

大学合格通知に関して重要なこと

大学の合格通知にはいくつか種類があります。すでにその生徒の席が確保されている「条件なしオファー」や「合格」。または、生徒が12年生の最後までひきつづき学業レベルをキープし、それを最終ディプロマ試験で証明した場合のみに合格となる「条件付きオファー」です。「条件付きオファー」をもらった生徒は、試験で良い成績を取らなければならぬのはもちろんですが、「条件なし合格」をもらった生徒でも、同様です。実際、他の学校では12年生の最後の数か月の学業成績が悪かったため、合格が取り消しになったケースがあります。ですから、12年生は全員が5月まで一生懸命勉強しなければなりません。

5月のディプロマ試験で好成績をあげると進学先の大学から入学前に履修単位として認めてくれることがあります。

また、KIST Founders'

Awards で今年導入された最終ディプロマ結果で高い点数を取った生徒に贈られるスカラシップ(詳細は2012年1月20日付 the University Support Scholarship レターをご覧ください)の審査対象になるかもしれません。なお、最終結果は学業成績記録として一生つい



Keep
studying
hard!

てまわることをお忘れなく。大学を卒業した後にさらに学業を続けたり、仕事を探したりするときにも影響を及ぼすこともあります。

2011年卒業生(昨年の12年生)の大学合格通知と進学先

KISTを卒業してから大学に出願する生徒もいます。主に国の教育制度によって入学時期が異なる、オーストラリアや日本の大学の通常の学部への進学を希望していた生徒たちで、オーストラリアは2月、日本は4月からの入学になります。下記のリストは、卒業後の2011年夏以降に出願し、合格した大学のリストです。太字になっている大学は、進学先です。おめでとうございます。大学での成功と充実した日々を心からお祈りします！

AUSTRALIA

UNIVERSITY OF QUEENSLAND

UK

HULT BUSINESS SCHOOL

JAPAN

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
MEIJIGAKUIN UNIVERSITY
SOPHIA UNIVERSITY (Liberal Arts)
LAKELAND COLLEGE
RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY (APU)

11年生のカレッジガイダンス

11年生のカレッジガイダンスの授業では、セメスター1に大学出願やキャリアに関する基本的な情報が紹介されました。セメスター2のアドバイザーークラスでは、大学選びや具体的な出願準備に取り掛かり、カレッジエッセイや志望理由書の書き方をMrs Okude とMr Coweが指導します。すでに11年生には、My Post-KIST Planというブックレットが渡されました。これは生徒が各自で作業をすすめ管理するためのもので、興味のない自己診断やMrs Okudeとの面談までに完成させておかなければならない質問事項や、出願大学リストや夏のアクションプランを書き込むページもあります。保護者の方は、ぜひこのブックレットとMoodleのCollege Guidanceページをご覧ください。お子さんがアクティビティーを遂行するのを手伝っていただきたいと思います。Mrs Okude の生徒との個人面談はすでに始まり4月まで続きます。

なお、4月16日(月)の夜にG11 College Night を開催いたします。11年生の保護者、生徒は必ず出席してください。詳細は各ご家庭に追って手紙でお知らせいたします。

Continued from previous page

各大学の説明会と大学フェアのお知らせ

春にもKISTでの各大学の説明会や東京での大学フェアがいくつかあります。ぜひ、お立ち寄りになり、世界中の高等教育について見聞を広めていただきたいと思います。

★KISTでの大学説明会 G9-G12 対象(保護者の方もどうぞご参加ください)

- ◆ Laureate International Universities (スイス、オーストラリアのホスピタリティ専門大学)
Tuesday, March 6, 15:30-16:30
- ◆ University of Southampton (UK)
Friday, March 9, 16:30-17:30
- ◆ University of Melbourne (Australia)
Monday, April 2, 15:30-16:30
- ◆ University of Sheffield (UK)
Tuesday, April 3, 14:20-15:30
- ★大学フェア(東京、一般向け、無料)
- ◆ beo International Education Fair (UK、オーストラリア)
Saturday, March 31, 13:00-18:00, 新宿タワー
<http://www.beo.co.jp/fair/english>
- ◆ SIUK イギリス大学フェア (UK)
Sunday, April 1, 12:00-17:00, 新宿ファーストウェスト
<http://www.ukeducation.jp/unifair>
- ◆ カナダ留学フェア (カナダ)
Tuesday, April 3, 16:00-19:00 / Wednesday, April 4,
12:00-19:00, カナダ大使館
<http://www.canada-ryugaku-fair>

サマープログラム

日本及び海外のサマープログラムに興味がおありの方は、カレッジガイダンスオフィスにお越しください。いくつかのプログラムの情報が来ています。

キャリアと大学進学に関するご質問やご相談がおありでしたら、どうぞお気軽にメールまたはお電話でMrs Okudeにご連絡ください。

Mrs Keiko Okude

カレッジガイダンスカウンセラー
オフィスアワー: 月、火、木、金 10:00-17:00
keiko.okude@kist.ed.jp



3月6日に行われたスイスのGlion Institute of Higher Education 説明会の様子

セカンダリーSRC

KISTのセカンダリーSRCは、全生徒のためになる、新しく建設的な考えを作り上げていくため、定期的に集まり話し合いを続けています。毎週火曜日の放課後に集まり、生徒達から聞いた問題やアイデアなどを話し合います。このミーティングはMr Fishmanの指導の下、プレジデントのYubo (G12)によって行われ、話し合われた全ての内容は秘書のAiri (G11B)によって記録されています。SRCが何か考えや、アクティビティを実行に移したいと決定した場合には、それ以上物事を進める前に提案書を作成し、セカンダリー校長に提出されます。承認の判断を行う際に理解しやすい提案書を作成していきます。

現在、KIST Leagueというお昼休みを利用して、学校内でスポーツアクティビティの提案をしています。来年度のスクールカレンダーへの意見も作成中です。

SRC活動を支えて下さっているKISTコミュニティーにSRCメンバー全員からお礼を言わせて下さい。

Staff Achievement



DPの日本語教師である、加茂悦夫 先生が日本語A言語と文学のIB Assistant ExaminerとしてIBから正式に認められました。加茂先生は世界中にいるIB生徒の採点をする事となります。加茂先生おめでとう！

Softballers Wanted



2011年12月のThe Cometにも掲載された、保護者スタッフのソフトボールチームはまだ新しいメンバーを探しています！練習や他のチームとのトーナメントの参加を通して友好的なスポーツマンシップを促進しており、1か月に2回日曜日にKISTのグラウンド、他の江東区内にある学校の校庭かベースボールグラウンドで集まります。色々な年代の方が参加しており、20代~60代の方まで一緒に楽しんでいます。

次の試合は4月1日(日)8:30 a.m.から新砂スポーツグラウンドで行われます。もし興味がありましたら、見学だけでも良いのでAkihiko Nogami akihiko.nogami@kist.ed.jp までご連絡下さい。

卒業生のレポート

Hiro Komaki は2008年のIST卒業生で、現在イギリスのバース大学の最終学年で、数学を専攻しています。

僕が一年生の後期に取っていた解析の授業のことは今でも覚えています。当時の僕は解析の授業が全くわかりませんでした。それは教授の教え方に問題があったのではなく、高校生で勉強した数学とは全く違った内容だったからです。証明を理解しようとする以前に、ギリシャ文字に悪戦苦闘して

いました。特に n (イーター) と ξ (クシー) です。前者はアルファベットの n に見えて(今でも見えます!)、後者は乱筆にしか見えませんでした。途方に暮れていた僕は、教授の授業を理解することを諦め自分の学年の男女の比率を調べることにしました。男子=理系という勝手な思い込みから、男女の比率は大体5:1くらいだと思っていました。しかし数えた結果、驚くことに5:1どころかほぼ1:1でした。この時に「なぜ数学という教科が女子にも人気なのか?」という疑問に直面しました。

過去を振り返ると、似たような経験を一年生の前期にも体験していました。それは解析の宿題で級数の発散と収束の問

題を解いていたときのことで、例えば $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{1+n}$ (n が1から無限までの級数を求める)が発散または収束するかを考えると、頭では n が大きくなるにつれ、分母も大きくなるのだから、1を大きな分母で割ると限りなく小さい数になるので収束級数になるとわかります。しかし、大学の数学は頭で理解しただけでは不十分でした。この日から「なぜ頭では理解しているのに、見るものすべてを証明しなければいけないのか?」という疑問を抱えていました。

上記の二つの出来事がようやくつながったのは、僕がパーソナルチューターとインターンや将来について話し合いをしていたときでした。その話し合いで、数学者は他のどの教科を専攻している人よりも就職率が高いことを知らされました。今この記事を読んでいる人たちのほとんどはこの事実疑問を感じていると思います。しかし、理由は至って単純です。なぜなら数学者は論理的に物事を考えることができ、社会はこの能力を持った人を求めているからです。例えば、「AであればB、BであればC」は論理です。同じく「お腹がすいたからご飯を食べる」も論理です。しかし、人生は「AであればB」というほど単純ではありません。AとBの間には何段もの階段があります。もちろん段数が増えるほど、物事も複雑化します。しかし、数学者は段数が一万段以上あっても理解することができます。なぜなら数学自体が論理であり、数学を勉強するにつれ論理的思考ができるようになるからです。証明は一つのステップ、または一文字抜いただけで成り立たなくなります。このような状況のなかで、論理的に考える練習を日々行っているのです。

論理的に考えることは日常生活でもとても重要です。人との話し合い、説得、中古品を買う、新聞を読むなど人はすべての行動に論理を使っています。論理がなければ世の中は成

り立ちません。また同じように、論理は他の教科にも使われています。理路整然とした論文を書くには論理が必要です。理路整然としたプレゼンをするのにも論理が必要です。私たちはすべての教科で無意識のうちに数学を使っているのです。

さて、最後になりますが、この記事のキャッチは何でしょう? 単純に「数学が嫌いだから」や、「他に得意な教科があるから」などという理由だけで数学を軽視しないでください。なぜなら「数学とは、いわば論理的思考の詩である」(アルベルト・アインシュタイン)からです。

話は変わりますが、以前からイギリスの大学について様々な質問を受けているのでこの機会を使っていくつかの質問に答えたいと思います。

Q. 学費の値上げが原因で、学生がデモを起こしている映像をニュースで見ました。イギリスで勉強するのは安全ですか?

A. 多くの方がご存知のように、イギリス政府は2010年に自国の生徒たちの学費を最大三倍(9000ポンド)まで上げることに合意しました。その結果、何千人もの生徒たちがロンドン、バーミンガムやマンチェスターで大規模なデモを起こしました。しかし、現在の状況はとても落ち着いていて、デモのニュースは長い間見ていません。また、イギリス政府は海外生の学費の値上げはしていません。海外生の学費は年間で9000から14,000ポンドになっています。

Q. ヨーロッパ経済の落ち込みでイギリスはどのような影響を受けましたか?

A. 不況が理由で学生たちが就職に困っていることは事実です。自国の学生が苦勞しているのですから、海外生はもっと大変だと思います。将来的にイギリスに留学することを考えている方には、大学の学部ごとのランキングだけではなく、大学の就職率、インターン率やインターン先の名前を調べることをお勧めします。例えば、去年バース大学で行われたインターンの説明会で、キャリアアドバイザーからイギリスではインペリアル大学とバース大学生が競争率の高い企業(ロイズ銀行やエアバスなど)のインターンに受かる確率が一番高いと聞きました。この事実からもわかるように、会社側も大学の名前だけでは人を雇わない時代になりました。

Hiro Komaki

The University of Bath
KIST Alumnus, "Class of 2008"



友人と共に。一番右側にいるのがHiro

PTAニュース

こんにちは、PTA役員会からのお知らせです。去年の8月、久しぶりに組織としてPTAが復活しました。役員一同、とまどいながら手探りしながら活動をして半年が経ちました。今回からは毎月の役員会でどのような事がなされているか、皆様にお知らせして行きたいと思えます。

1) 今月より役員会(役員会は毎月第1週水曜日14時より、役員と各コミティの代表によって行われています。場合により、学校関係者も加わります)にて話し合われた事柄をPTA Newsletterとして、PTAメンバーに配信していきます。

2) PTA専用の口座が出来ました。今月よりPTA費は学校会計ではなく、PTA会計が管理します。

3) 各コミティーイベントやスクールイベントのサポート等で行った費用は専用の請求書に記入してもらい、PTA役員会で審議し承認されたものは翌月に清算されます。

4) 学校への援助は、両校長(primaryとsecondary)がオフィスにwish list(購入希望リスト)を提出し、優先順位をつけた後に役員会で話あう。最終的には総会(5月30日、水曜日)にて全PTAメンバーの賛否を取り、採択される。

5) 各コミティからの活動報告

Newcomers Committee

⇒ 新しく入って来た人へ渡してもらおう手紙を作成し終え、オフィスのCraigさんに新入生へ渡すパケットと一緒にに入れてもらう事となりました。この手紙には、このコミティーの代表者の連絡先が書いてあり、困った事や知りたい事などの相談にのれるようになっていきます。最終的にはBuddy System(お友達のような関係、その新入生に近い人がいろいろと教えてあげられるようにする)を採用し、きめの細かいサポートができるようにしていきたい。

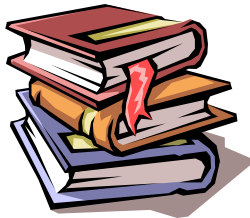


Library Committee

⇒ 先月議題にのぼった、英語の本をいつでもオーダー出来るようにしてほしい、というリクエストは、事務手続きの煩雑さのため、難しい。そのかわりに、Book Fairの期間(現在行われ中)を従来の2週間から3週間に延長してもらえ事になりました。

⇒ 図書館のボランティアで作業を効率化するためのスタンプの作成が先月の役員会で承認されていますが、現在デザインを考案中です。

⇒ さくらメダルが行われていますので、お子さんにも、沢山本を読んでもらえるようにご家庭でも勧めていきましょう。



Parent Booster Club

⇒ PTAの口座が出来ましたので、区のスポーツ施設(スイミングプール等)利用が可能となりました。ただし予約が3ヶ月前からなので、今年度の活動難しい事がわかりました。来年に向けて、引き続き準備をしていきたいと思えます。

⇒ 来年度はチアリーディングクラブを立ち上げたいため、5月のFamily Dayもしくは来年早々に、有名なチアリーディングチームに来校してもらい演技をみせてもらう事を計画しています。

⇒ CPR第2弾を計画中。



Events Committee

⇒ 5月25日のWine & Cheeseにむけて準備をしています。前回は大成功でしたので次回は更に多くのPTAメンバーの参加をお待ちしています。



6) 各コミティーの今後の予定

◆ Knitting Summer Shawls (Parent Booster Club)
4月19日(木)午前中(時間は未定)

◆ Wine & Cheese (Events Committee)
5月25日(金)夕方(時間は未定)

PTAの各コミティーの活動報告や内容はMoodleでも随時更新しています。質問や疑問、提案などがありましたら、役員や各コミティーのメンバーにぜひお知らせ下さい。また、各コミティーは現在もメンバー募集中です。一緒に楽しく活動しませんか?こちらもお待ちしています。

